

ライブラリーの「多文化共生コーナー」に新着本3冊が入りました。

①「まんが アフリカ少年が日本で育った結果 ファミリー編」

(星野ルネ著、毎日新聞出版、2019年3月)

②「ヘイトをとめるレッスン」

(ホン・ソンス著、ころから、2021年5月)

③「アンダーコロナの移民たち—日本社会の脆弱性があらわれた場所」

(鈴木江理子著、明石書店、2021年6月)

①は関西で育った著者(カメルーン出身)が日々の暮らしの中で感じたことや出来事を、元気あふれる色使いとダイナミックな絵で描くエッセイ漫画。「日本人と外国人」という2つの軸ではなく、「様々なルーツや個性をもった日本人が当たり前で暮らす社会」を希求する著者のメッセージがたくさん詰まっています。世代を問わず、笑いとともに楽しく読んでいただける一冊です。

今回、新たにマンガコーナーを設け、同書を配架しています。その他、「サトコとナダ」(ユペチカ著、星海社)や「まんが クラスメイトは外国人」(みなみななみ著、明石書店)などシリーズ本も揃えています。ぜひライブラリーに足をお運びください。



① の著者紹介

【星野ルネ】

漫画家、タレント。1984年カメルーン生まれ。母の結婚を機に4歳で来日、25歳で上京。タレント活動の傍ら、ツイッター上で発表し話題となっていたエッセイ漫画を2018年に出版。

「名古屋市多文化共生推進月間」のポスターは星野氏による作画で、手をつなぐ様々な国の人々の笑顔で「多文化共生」を表現している。ライブラリーでポスターを掲示中。

